



# 町長のしごとと日記

第96号

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【3期目がいよいよスタート・・・】

今年の夏は、過去に経験のない暑さが続き、八月下旬まで三十度を超える暑い日が続きました。

八月二十三日(水)から二十五日(金)の期間で溝部議長と共に友好市である長崎県松浦市を訪問してまいりました。

この度は、「令和五年度長野県木曾町・北海道福島町・長崎県松浦市 親善友好締結に係る首長・議長相互交流事業」として、三市町の首長及び議会議長が一堂に会し、意見交換などを行いながら松浦市の政策や現地見学などを行ってきました。

当交流は、当時の故斎藤町長が同じ町名の長崎県福島町を訪問したことがきっかけとなり始まったものです。もともと「福島町」という同じ町名を有する長野県木曾福島町と長崎県福島町並びに北海道福島町の三町で交流がスタートしております。

その後、平成の合併を経て、平成二十一年に松浦市・木曾町・福島町で改めて親善友好提携を結び、現在の形となっております。

なお、次年度(令和六年度)は当町が当番となり、両市町をお招きすることとなりますので、さらなる交流を深めるべく準備を進めてまいります。

九月一日(金)、改選後初めての議会が開催され、福島町まちづくり基本条例の規定に基づき、町長就任時の宣誓を行わせていただきました。

町政の執行にあたり「公正」「公平」を基本とし、「やさしさ」と「思いやり」をもって、誠実に職務を遂行することを誓わせていただきました。

また、私の三期目、四年間の所信表明を述べさせていただきました。与えられた任期を全力で努め、「笑顔あふれる福島町」の実現のため、持続可能なまちづくり

くりを町民の皆様と共に創り上げてまいりたいと考え、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

九月三日(日)、活力あふれる北海道の未来を実現する会が主催する「二〇二三鈴木直道政経セミナー」が札幌プリンスホテルで開催され、参加をさせていただきました。

当日は、国会議員をはじめ経済界及び市町村長など全道各地から多くの方々の参加があり、鈴木知事が「北海道を前へ」と題して講演を行いました。

北海道が直面する様々な課題に果敢に挑戦する姿勢が示され、特に「エネルギー」「デジタル」「食」の三つをキーワードに、北海道の価値をさらに押し上げていくという力強い発言がありました。

九月九日(土)・十日(日)の両日、福島大神宮例大祭が開催され、久々に四ヶ散

米行列の笛の音が町内を巡行いたしました。

私も初日、役場前の玄関で行列をお迎えさせていただきました。また、行列に続き各町内会の山車が、祭囃子と踊り子を従えて、まちを練り歩きました。

最盛期の数には及びませんが、三つの町内会が参加し、祭りを盛り上げていただきました。

各地域の人口減少が進む中、また、コロナで中断を余儀なくされた中で、山車を維持するのが大変となり、大神宮の祭礼行列も含めて、今後の在り方を考える時期に来ているような気がいたします。

時代が大きく変化する中で、「まち」をどう次の世代へ繋げていくか、いまを生きる私たちが責任をもって、我が事と考え真剣に取り組む課題であります。地域の伝統文化を一人ひとりの町民が自らの手で共に作り上げることが大切です。